

た連絡船“還住丸”が連続して欠航してしまいました。諦めきれずに、天候の回復を待ち、3日後に何とか渡航は実現したものの、全体の旅程の関係で、青ヶ島採集は往路の船でそのまま引き返す強行日程を取らざるを得なかった。結局、現地ではクワガタを狙った朽木割りを含め、カ



図2. 青ヶ島産キイロアラゲカミキリ♂(上) ♀(下).

ミキリの材採集に徹し、船が港に停泊している1時間足らずの間に、港から周回道路に続く急坂を駆け上り(当時、三宝港と集落を結ぶトンネルや架橋はまだ建設されておらず、軽トラがバックでないと登れないほどの急坂であった)、道路脇の疎林の木々の枯れ枝を樹種も問わず片端から切って、それこそ持てるだけ持ち帰ったことを記憶している。本種はそうした枯れ枝の中から羽化脱出したものであるが、うっかり採取した枝材をうっかり数ヶ月放置してしまったため、詳細な羽化脱出日は不明である。その上、気付いた時には、すでに死体はボロボロになってしまっていた。なお、同日に島で採取した枝材群からはリュウキュウヒメカミキリ *Ceresium fuscum fuscum* Matsumura et Matsushita, 1932 やチャイロヒメカミキリ *C. simile flavopubescens* Kusama et Takakuwa, 1984 も羽化脱出した。

末筆ながら、伊豆諸島におけるカミキリムシの記録の詳細をご教授くださった上に、本記録の発表を勧めてくださった藤田宏氏に感謝申し上げる。また、2012年の利島調査は日本学術振興会からの科研費の補助(No. 24510333)を受けて実施したものである。調査の機会を与えてくださった本研究の代表者である東京農業大学の小島弘昭教授にもお礼申し上げたい。

#### 引用文献

藤田 宏, 2012, 伊豆諸島のカミキリムシ相(中間報告)(上), 月刊むし, (492): 18-30.

(荒谷邦雄 九州大学大学院比較社会文化研究院)

#### 【短報】岡山県におけるキイロコガシラミズムシの記録

キイロコガシラミズムシ *Halipplus eximius* Clark, 1863 (図1) は、コガシラミズムシ科ヒメコガシラミズムシ属に属する水生甲虫で、ため池や水田などの止水域に生息する。本種は「環境省第4次レッドリスト」で従来の準絶滅危惧(NT)から絶滅危惧Ⅱ類(VU)に格上げされており(環境省自然環境局野生生物課, 2012), 全国的に減少している。岡山県からは山地(1989)が岡山市で記録した1例のみが知られ(山地, 2012), 「岡山県版レッドデータブック 2009 動物編」では情報不足(DD)に選定されている(岡山県生活環境部自然環境課編, 2010)。筆者らは、岡山県で20年以上記録が途絶えていた本種を採集したのでここに報告する。

6exs., 岡山県赤磐市山口, 29. IV. 2013, 筆者ら採集・保管(同定資料: 中根, 1987)。

本種が確認されたのは、水田に設営された幅40cm程度の明渠であった(図2)。個体密度は低く、筆者ら2人で約1時間の採集を行い、確認されたのは6個体のみであった。その他、チビゲンゴロウ、マルチビゲンゴロウ、ヒメガムシ、キイロヒラタガムシが少数確認されたのみで、水生甲虫はほとんど確認されなかった。一般的に、コガシラミズムシ類は食植性とされているが、生息地の植生は乏しく、落ち葉が堆積した上に、少数のアオミ



図1. 岡山県産キイロコガシラミズムシ *Halipplus eximius* Clark, 1863.



図2. キイロコガシラミズムシの生息環境。

ドロやイチョウウキゴケが確認された程度であった。一方、越冬を終えたクロスジギンヤンマの終齢幼虫が多数確認されたことから、この明渠の水位は、昨年の夏以降安定しているものと思われた。

岡山県で本種が記録されていたのは岡山市のみであったが、赤磐市で新たに生息地が確認された。本種は詳しい生態が解明しておらず、今回のように発見し辛い環境にも生息していることから、発見するのが容易でない。そのため、他にも生息地が残されている可能性が考えられ、環境が改変される前に早急な調査が望まれる。

末筆ではあるが、岡山市の山地治氏、倉敷市立自然史博物館の奥島雄一博士には岡山県内における本種の記録についてご教授いただいた。この場をお借りし、厚くお礼を申し上げる。

## 引用文献

- 環境省自然環境局野生生物課, 2012. 報道発表資料 第4次レッドリストの公表について (お知らせ). (2013年4月30日参照) <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15619>
- 中根猛彦, 1987. 日本の甲虫 (80). 昆虫と自然, 22(11): 26-30.
- 岡山県生活環境部自然環境課編, 2010. 岡山県版レッドデータブック 2009 動物編. 416pp. 岡山県生活環境部自然環境課.
- 山地 治, 1989. 岡山県より採集した甲虫類の記録. すずむし, (123): 14-19.
- 山地 治, 2012. 岡山県産甲虫目録. 401pp. 岡山県環境保全事業団.

(渡部晃平 700-8617 岡山市北区津島京町 3-1-21  
株式会社エイト日本技術開発)  
(新田涼平 700-0945 岡山市南区新保 1612-20  
イカリ消毒株式会社)

## 定期購読のご案内

# 月刊むし

B5判, 56~80頁 毎月20日発売  
定価1200円 (送料100円)

「月刊むし」は、1971年3月に創刊された昆虫専門の月刊雑誌で、30年以上続いて発行されています。過去のバックナンバーの内容はむし社HPをご覧ください。  
<http://homepage2.nifty.com/mushi-sha/>



505号 (2013年3月号)  
カミキリ特集号  
●針葉樹の土壌に集まる北国のカミキリムシ  
●ロンボック小紀行ーメリオノエダを求めてー  
●長野県北アルプス・カミキリ紀行  
●尖閣諸島のカミキリムシ

506号 (2013年4月号)  
●「科の壁」を超えて  
ー摩訶不思議なゴミムシダマシの多様性ー

507号 (2013年5月号)  
●2012年の昆虫界をふりかえって

## 昆虫用品は

むし社

検索

### 「月刊むし」定期予約購読

本誌は一般書店での販売のほか、定期予約購読も行っております。定期予約の場合、送料は無料で、次のように誌代も割引となりますので、ぜひご利用下さい。

6ヶ月 予約 定価 7200円 → 7000円  
12ヶ月 予約 定価 14400円 → 14000円  
24ヶ月 予約 定価 28800円 → 28000円

### お申し込み方法

郵便振替用紙に「月刊むし予約」と明記のうえ、下記の口座あてにご送金ください。  
郵便振替口座 00160-5-159262 むし社  
新規お申し込みは、当月発売分よりとさせていただきます。



月刊むし・昆虫図説シリーズ 2

## 日本のネクイハムシ

●日本のネクイハムシ全種 (23種) と世界の主なネクイハムシを掲載!  
●代表的な生息環境とそこでみられる種を、環境写真、生態写真で紹介。

著者: 林 成多  
A4判, 上製本 96頁 (48カラー頁)  
定価 6,720円  
(税込・送料サービス)

むし社

〒164-0001 東京都中野区中野 2-23-1-209 Tel. 03-3383-1461~1462 Fax. 03-3383-1467